

市野新田ダムだより 24号



株式会社フジタ 東京支店
市野新田ダム作業所
電話 0257-29-2861

平成28年 6月 初夏号

現場の状況

市野新田ダムの進捗について



堤体上流より堤体基礎掘削状況



取水設備配管状況（関連工事）



洪水吐上流側基盤検査箇所



洪水吐下流減勢池周辺

ダム堤体部の旧河床では、地中の水の流れを止めるためにセメントミルクを注入（基礎処理工）し、止水壁を造る工事が完了しました。これから、注入機械が斜面を上方へ移動していき順次、止水壁を造成します。

旧河床は、ダムの本体を載せる地盤までの掘削工事に移行します。ダム本体盛立に向けた最終段階となり、掘削完了後の8月初旬には河川管理者（新潟県）の地盤検査を受検し、合格した後、いよいよ盛立開始となります。

別会社の工事となりますが、周回道路工事やダムに溜めた水を取る設備（取水設備）の工事も行われており、工事の最盛期を迎えることとなります。集落内道路の車両運行も多くなりますが、これからも安全作業・安全運行を進めていきますので工事へのご理解の程、宜しくお願いいたします。

下にもあるように現場見学会が多く開催されています。現場は、随分ダム工事現場らしくなってきました。機会がございましたら、見学会にも、ぜひ足をお運びください。

現場見学



5月23日



5月23日 JICA(国際協力機構)の本邦研修で、アフガニスタンの研修生15名が市野新田ダムを見学をされました。



5月26日



5月26日 野田コミセンより、地区の皆様が現場見学に来られました。



6月16日

6月16日 新潟県立高田農業の生徒さん40名が、現場の見学に来られました。生徒さんからお土産の鉢植えの花を頂きました。

地区行事

・6月5日は全市一斉清掃美化活動「クリーンデー柏崎」でした。美しい景観を保つ為に今年も地区の皆さんと一緒に参加しました。

・6月12日には鶴川地区の敬老会があり、当作業所からは2名が出席致しました。短い時間でしたが、人生の先輩方の貴重なお話を伺いました。後半にはアトラクションもあり、とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。

6月5日 クリーンデー



6月12日 鶴川地区敬老会



皆様、こんにちは。時は6月、新緑の季節。今年ももう半分以上が過ぎようとしています。初夏の山々は真新しい緑から力強い緑に変わりつつあります。自然の景色と同じで私達人間も、この時期になるとスイッチが入ったように力強く活動が活発になり仕事や行事、旅行やスポーツをしたくなります。初夏は菖蒲が咲いたり燕が巣作りをしたり、ムカデが出たり(><)です。私は、新キャベツ、新じゃが、新たまねぎを食べて新茶を飲む、などで初夏のスイッチが入る(入ってしまう?)ように思います。皆様はいかがですか? お腹が空いてきました(;)

ところで現場の朝礼広場内に、こんな住人が居ました。胸が少し黄色い『キセキレイ』という鳥かなと思います。鉄骨の隙間に巣を作って、小さい卵を温めていたそうです。もう暫くしたらかわいいヒナが産まれることでしょうか。市野新田産まれの『キセキレイ』、元気に産まれて無事に巣立って行くように見守って行きたいと思ひます。

